

復興構想国際スタジオ：鎮魂のランドスケープの概要

- 主催 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻
- 共催 東北大学防災科学国際研究所（予定） アーキエイド
 せんだいスクールオブデザイン 協同組合仙台卸商センター
- 後援 仙台市
- 趣旨 甚大な津波被害を受けた仙台市沿岸地域について、どのように従来の都市機能を補完してサステイナブルな環境を作るのか、命を落とした人々の魂を鎮める意味をそこにいかに持たせるかといった課題については、十分な議論が必要である一方、今回の震災に伴う大災害を記憶に刻み、自然のリスクと共存する必然性は国際的にも広く共有されている。

本企画は、そうした問題等を共有し、災害に対する国際理解の深化を図り、今次の災害でお亡くなりになった多くの人々の魂に祈りをささげるとともに、復興構想について検討するものである。

■参加大学

コロンビア大学、プリンストン大学、UCLA（以上、アメリカ合衆国）、ローザンヌ連邦工科大学/EPFL（スイス）、清華大学（中国）、東北大学（日本）

- 講師 海外：ジェシー・ライザー（プリンストン大学）、ジェイソン・ペイン（UCLA）、ナナコ・ウメモト（ローザンヌ連邦工科大学）、クニオ・クドウ（コロンビア大学）、徐強国（清華大学）

日本：小野田泰明、本江正茂、石田壽一、堀井義博、堀口徹、佃遥、保科陽介（東北大）、越村俊一（東北大・津波工学）、伊藤豊彰（東北大学・農学）、石川初（ランドスケープ）、その他

※お問い合わせ先

SSD（せんだいスクールオブデザイン）研究員
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1 電気通信研究所内
東北大学大学院工学研究科
都市・建築学専攻都市・建築デザイン学講座
Tel：022-217-6347